

様式集

通番	資料名	頁	項目名	修正前(7月2日公表)	修正後(8月20日)
1	様式集	2	提出書類の一覧及び作成要領	設計内訳総括表 <様式48>設計内訳総括表	設計内訳書 <様式48>設計内訳書
2	様式集	3	第2章 4(3)	<様式48>設計内訳総括表	<様式48>設計内訳書
3	様式集	4	第2章 5(5)1)①	正本(製本1部)	正本(製本1部、 <u>バインダー綴じでも可</u>)
4	様式集	4	第2章 5(5)1)①	<様式48>設計内訳総括表	<様式48>設計内訳書
5	様式集	23	様式13 提案書提出届	<設計内訳総括表> <様式48>設計内訳総括表	<設計内訳書> <様式48>設計内訳書
6	様式集	24	様式14 入札書等及び提案書の提出確認表	<設計内訳総括表> <様式48>設計内訳総括表	<設計内訳書> <様式48>設計内訳書
7	様式集	37	様式25-1	a 事業費の調達に関する考え方 ◇ 本事業における事業費の資金調達に…	a 施設整備費相当の調達に関する考え方 ◇ 本事業における施設整備費相当の資金調達に…
8	様式集	37	様式25-1	b 事業費の調達内訳 事業費(施設整備費相当) ◇ 事業費の調達に対応する…	b 施設整備費相当の調達内訳 施設整備費相当 ◇ 施設整備費相当の調達に対応する…
9	様式集	44	事業計画に関する提案書の作成にあたっての注意事項	(事業費の調達内訳) 1 事業費に対して、機構からの…	(施設整備費相当の調達内訳) 1 施設整備費相当に対して、機構からの…
10	様式集	45	事業計画に関する提案書の作成にあたっての注意事項	<様式48>設計内訳総括表	<様式48>設計内訳書
11	様式集	65	様式48 タイトル	設計内訳総括表	設計内訳書
12	様式集	65	様式48	<様式48>の「設計内訳総括表」は、書類の作成に配慮し、別ファイルとします。	<様式48>の「設計内訳書」は、書類の作成に配慮し、別ファイルとします。
13	様式集(別ファイル) 様式26「長期事業収支計画(損益計算書)」	-	年度欄	-	【平成31年度欄を削除】
14	様式集(別ファイル) 様式26「長期事業収支計画(損益計算書)」	-	様式26(Excel) 損益計算書の売上欄	機構から支払われる対価	本事業に係る収入 【その他「売上」欄の対価に掛かる表現を削除】
15	様式集(別ファイル) 様式28「入札金額内訳書(施設整備対価の内訳書)」	-	様式28(Excel) 施設整備費欄	一般管理費	一般管理費等
16	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳総括表」及び「設計内訳書」	-	-	-	【両ファイルを様式48「設計内訳書」として統合】
17	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧様式48「設計内訳総括表」)	-	「総括」シート	1. 施設整備対価 2. 維持管理対価 3. 研究支援対価	1. 施設整備対価 (税込) 2. 維持管理対価 (税込) 3. 研究支援対価 (税込)
18	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧「設計内訳書」)	-	「施設整備総括 I」シート タイトル	幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第 II 期)等事業のうち施設整備事業	幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第 II 期)等事業のうち施設整備
19	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧「設計内訳書」)	-	「施設整備総括 I」シート	-	【「施設整備費」を表上段に追加】 【「施設整備費 計」欄を追加】 【「その他費用」欄を追加】 【「割賦手数料」欄を追加】 【「施設整備対価 計」欄を追加】
20	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧「設計内訳書」)	-	「維持管理総括 I」シート タイトル	幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第 II 期)等事業のうち維持管理費	幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第 II 期)等事業のうち維持管理
21	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧「設計内訳書」)	-	「維持管理総括 I」シート	-	【「維持管理費」を表上段に追加】
22	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧「設計内訳書」)	-	「維持管理総括 II」シート	-	【「諸経費」欄を追加】 【「維持管理費 計」欄を追加】 【「その他費用」欄を追加】 【「維持管理対価 計」欄を追加】
23	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧「設計内訳書」)	-	「維持管理総括 II」シート	-	【「諸経費」欄を追加】 【「維持管理費 計」欄を追加】 【「その他費用」欄を追加】 【「維持管理対価 計」欄を追加】
24	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧「設計内訳書」)	-	「研究支援総括 I」シート	-	【表外のタイトル等を削除】
25	様式集(別ファイル) 様式48「設計内訳書」(旧「設計内訳書」)	-	「研究支援総括 I」シート	-	【「研究支援対価 計」欄を追加】

要求水準書

通番	頁 (修正前)	行数 (修正前)	頁 (修正後)	行数 (修正後)	項目名	修正前(7月2日公表)	修正後(8月20日)
● 要求水準書本文							
26	ii	19	ii	19		<p>.....</p> <p>【別図1.7】HDB6孔ボーリング調査結果 【別図5.1】研究支援用計測システム整備断面図 【別図5.2】140m坑道平面図 【別図5.3】250m坑道平面図 【別図5.4】350m坑道平面図 【別図5.5】350m坑道 試験坑道詳細図 【別図5.6】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(1) 【別図5.7】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(2) 【別図5.8】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(1) 【別図5.9】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(2) 【別図5.10】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(1) 【別図5.11】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(2)</p>	<p>.....</p> <p>【別図1.7】HDB6孔ボーリング調査結果 【別図3.1】掘削土(ズリ)置場平面図 【別図5.1】研究支援用計測システム整備断面図 【別図5.2】140m坑道平面図 【別図5.3】250m坑道平面図 【別図5.4】350m坑道平面図 【別図5.5】250m坑道 水平坑道掘削影響試験詳細図 【別図5.6】350m坑道 試験坑道詳細図 【別図5.7】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(1) 【別図5.8】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(2) 【別図5.9】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(1) 【別図5.10】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(2) 【別図5.11】350m坑道 テストビット挙動評価試験詳細図 【別図5.12】350m坑道 オーバーバック磨食試験詳細図 【別図5.13】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(1) 【別図5.14】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(2)</p>
27	7	11	7	11	第1章7節1. 事業者の役割	③また、事業者は、総括代理人をして、……	③また、事業者は、総括責任者をして、……
28	7	27	7	27	第1章7節2. 要求水準の確認	<p>②要求水準確認計画書の作成 a. 事業者は、前記を踏まえ、要求水準確認書を機構と協議のうえで作成し、機構に提出し、確認を受ける。なお、内容は「地下施設本体部:立坑、水平坑道」と「仮設備」に区分し、さらに仮設備は、「各立坑槽設備」、「コンクリート製造設備」、「給排水設備」、「換気設備」等に区分する。 b. 事業者は着手する前に、各業務に係る要求水準確認書を作成する。 c. 設計図書に係る要求水準確認書においては、個別の確認項目毎に、要求水準の確認の方法(性能を証明する書類、施工現場での測定等)と確認の時期(施工実施時点等)、確認をする者(施設整備企業、維持管理企業、研究支援企業)、その他必要な事項に関して、技術的妥当性の確認を行い、必要な場合には修正等を行ったうえで取りまとめるものとする。</p>	<p>②要求水準確認計画書の作成 a. 事業者は、前記を踏まえ、要求水準確認計画書を機構と協議のうえで作成し、機構に提出し、確認を受ける。なお、内容は「地下施設本体部:立坑、水平坑道」と「仮設備」に区分し、さらに仮設備は、「各立坑槽設備」、「コンクリート製造設備」、「給排水設備」、「換気設備」等に区分する。 b. 事業者は着手する前に、各業務に係る要求水準確認計画書を作成する。 c. 設計図書に係る要求水準確認計画書においては、個別の確認項目毎に、要求水準の確認の方法(性能を証明する書類、施工現場での測定等)と確認の時期(施工実施時点等)、確認をする者(施設整備企業、維持管理企業、研究支援企業)、その他必要な事項に関して、技術的妥当性の確認を行い、必要な場合には修正等を行ったうえで取りまとめるものとする。</p>
29	31	15	31	15	第3章3節22. 品質保証計画	(2)事業者は、「要求水準確認書」に基づき、本書の各条項等で述べる材料試験及び現場管理試験を行う。	(2)事業者は、「要求水準確認計画書」に基づき、本書の各条項等で述べる材料試験及び現場管理試験を行う。
28	45	4	45	4	第4章4節8. 湧水抑制対策工	(1)湧水抑制対策工の実施 プレグラウト工は、立坑壁面からの湧水量を抑制する目的で、……。 事業者は、実施に先立ち、使用材料、施工範囲、施工方法、効果の確認方法、品質管理方法等を記した工種別施工計画書を提出し、機構に確認すること。	(1)湧水抑制対策工の実施 プレグラウト工は、立坑壁面からの湧水量を抑制する目的で、……。 事業者は、実施に先立ち、使用材料、施工範囲、施工方法、効果の確認方法、品質管理方法等を記した施工要領書を提出し、機構に確認すること。
29	23	40	23	40	第2章3節6. 用地	(1)事業者は、機構が無償貸与する仮設用地及び掘削土(ズリ)置場を使用するものとする。	(1)事業者は、機構が無償貸与する地下施設工事ヤードと掘削土(ズリ)置場の使用するものとする。掘削土(ズリ)置場の平面図を【別図3.1】に示す。
30	73	30	73	30	第5章1節2. 研究支援業務を実施する地下施設の範囲	250m坑道 : 総延長176,322mのうち95,822m 350m坑道 : 総延長854m	140m坑道 : 総延長173.6mのうち1.8m 250m坑道 : 総延長178.1mのうち140.9m 350m坑道 : 総延長759.9m
31	78	10	78	10	第5章3節1. 一般	(2)ステップ管理計測(B計測)とは、設計図書に基づき実施する【別表3.32】に示す計測をいう。	(2)ステップ管理計測(B計測)とは、設計図書に基づき実施する【別表3.33】に示す計測をいう。
32	81	25	81	25	第5章3節8. 断面形状計測(三次元レーザースキャナー)	(1)切羽壁面の三次元形状を三次元レーザースキャナーにより、全周(水平坑道はアーチ部のみ)にわたって測定すること。	(1)切羽壁面の三次元形状を三次元レーザースキャナーにより、全周(水平坑道は側壁・アーチ部のみ)にわたって測定すること。
33	88	1	88	1	第5章4節3. (1)②b. ボーリングコア記載	3) 深度	1) 深度
34	92	11	92	11	第5章4節3. (2)①測定	測定結果はデジタルで記録し、測定終了後にMicrosoft® Excelを用いたファイル形式で整理して提出すること。デジタルは10cm間隔で記録すること。検層結果はCD-R又はDVD-R等のメディアに記録して提出することとする。	測定結果はデジタルで記録し、測定終了後にMicrosoft® Excelを用いたファイル形式で整理して提出すること。デジタルは10cm間隔で記録すること(ただし、【別表5.7】孔曲がり検層についてはこの限りではない)。検層結果はCD-R又はDVD-R等のメディアに記録して提出することとする。
35	93	8	-	-	第5章4節3. (2)②測定標準仕様	g. スペクトル検層 ・測定種類: K(Potassium), U(Uranium), I(Thorium) ・測定精度: K: ±2%, U: ±10ppm, I: ±10ppm	【削除】
36	93	12	93	9	第5章4節3. (2)②測定標準仕様	h. 音波検層(S波及びP波)	g. 音波検層(S波及びP波)
37	93	20	93	17	第5章4節3. (2)②測定標準仕様	i. 温度検層	h. 温度検層
38	93	25	93	22	第5章4節3. (2)②測定標準仕様	j. フローメータ検層	i. フローメータ検層
39	93	30	93	27	第5章4節3. (2)②測定標準仕様	k. 電気伝導度検層	j. 電気伝導度検層
40	96	8	96	4	第5章4節(3)納入物件に関する共通事項	各試験項目において、【別表5.7】に示す……	各試験項目において、【別表5.8】に示す……

通番	頁 (修正前)	行数 (修正前)	頁 (修正後)	行数 (修正後)	項目名	修正前(7月2日公表)	修正後(8月20日)
41	94	36	94	32	第5章4節3.(2)⑤データ整理	b. EMI検層, ポアホールテレビューア	b. ポアホールテレビューア
42	99	22	99	18	第5章4節5.(1)①c.調査試験場所	・掘削位置:大型試験座(西)(【別図5.3】250m坑道平面図参照)	・掘削位置:大型試験座(西)(【別図5.3】250m坑道平面図①参照)
43	100	31	100	27	第5章4節5.(1)①e.1)孔間水理試験装置へのトレーサー注入などの物質移行試験機	……, 圧力(フィルターなど圧力損失が生じうる箇所の前後等に配置)をデータロガー, PCIにより……	……, 圧力をデータロガー, PCIにより……
44	101	7	101	3	第5章4節5.(1)①e.2)ボーリング孔掘削	・掘削方向は鉛直下向きとする。	・掘削方向はおおよそ水平を標準とする。
45	101	14	101	10	第5章4節5.(1)①e.3)コア観察, コア写真撮影, 物理・流体検層	「第5章4節3.(2)検層・観察に関わる共通事項」に従い, それぞれのボーリング孔において, コア地質記載, 写真撮影, 孔径, 方位・傾斜角, 孔壁画像(EMI検層, BT, BHTV), 一般物理検層(音波, 比抵抗, 自然電位, 密度, 間隙率, 自然ガンマ線), 流体検層(温度, 流量, 比抵抗値などを自然状態と揚水状態に分けて測定), 柱状図作成を計90m分行う。	「第5章4節3.(2)検層・観察に関わる共通事項」に従い, それぞれのボーリング孔において, コア地質記載, 写真撮影, 孔径, 方位・傾斜角, 孔壁画像(BTV, BHTV), 一般物理検層(音波, 比抵抗, 自然電位, 密度, 間隙率, 自然ガンマ線), 流体検層(温度, 流量, 比抵抗値などを自然状態と揚水状態に分けて測定), 柱状図作成を計90m分行う。【別表5.7】に検層作業一覧を示す。
46	111	19	101	15	第5章4節5.(3)①c.調査試験場所	-	【別図5.5】250m坑道 水平坑道掘削影響試験詳細図参照(図の追加)
47	111	38	111	35	第5章4節5.(3)①e.1)ボーリング孔の座標・孔曲がり測定	【別図5.3】⑤に示すように, ……水平ボーリング孔(24m:1本, 16m, 2本)の……	【別図5.3】⑤および【別図5.5】に示すように, ……水平ボーリング孔(約23m:1本, 約16m:2本)の……
48	112	5	112	2	第5章4節5.(3)①e.2)弾性波トモグラフィ調査	【別図5.3】⑤に示すように, 水平角30度の角度で平行に掘削された孔間3.5mの2本の……上記ボーリング孔の20-24mの区間(24m長), 12-16mの区間(16m長)に囲まれた……	【別図5.3】⑤および【別図5.5】に示すように, 水平角約30度の角度で平行に掘削された孔間約2.5mの2本の……(上記ボーリング孔の約19-23mの区間(約23m長), 約12-16mの区間(約16m長)に囲まれた……
49	112	9	112	6	第5章4節5.(3)①e.2)弾性波トモグラフィ調査	・受震器12点程度を長さ16mの……	・受震器12点程度を長さ約16mの……
50	112	30	112	27	第5章4節5.(3)①e.3)ポアホールテレビ観察	……水平ボーリング孔(24m:1本, 16m, 1本)の……	……水平ボーリング孔(約23m:1本, 約16m:1本)の……
51	118	25	118	22	第5章4節6.(1)①e.6)初期地圧測定結果の整理	測定結果の整理では, 250m坑道における三次元初期地圧状態を算出すること。	測定結果の整理では, 350m坑道における三次元初期地圧状態を算出すること。
52	134	12	134	9	第5章4節6.(3)②c.調査試験場所	・350m坑道(【別図5.8】、【別図5.9】参照)	・350m坑道(【別図5.4】⑤、【別図5.9】、【別図5.10】参照)
53	135	5	135	2	第5章4節6.(3)②e.3)弾性波トモグラフィ調査	・立坑の掘削前後に【別図5.8】、【別図5.9】に記した……	・立坑の掘削前後に【別図5.9】、【別図5.10】に記した……
54	135	22	135	19	第5章4節6.(3)②e.4)透水試験	・立坑の掘削前後に【別図5.8】、【別図5.9】に記した……	・立坑の掘削前後に【別図5.9】、【別図5.10】に記した……
55	135	34	135	31	第5章4節6.(3)②e.5)埋設ひずみ計測	・立坑の掘削前に【別図5.8】、【別図5.9】に記した……	・立坑の掘削前に【別図5.9】、【別図5.10】に記した……
56	137	9	137	6	第5章4節6.(3)③c.調査場所	・350m坑道(【別図5.4】、【別図5.5】参照)	・350m坑道(【別図5.4】⑥、【別図5.8】参照)
57	140	29	140	26	第5章4節6.(4)①c.調査試験場所	・【別図5.7】350m坑道(試験坑道)調査研究実施詳細図(2)D-D断面参照	・【別図5.7】350m坑道(試験坑道)調査研究実施詳細図(2)D-D断面参照
58	140	29	140	27	第5章4節6.(4)①c.調査試験場所	-	【別図5.11】350m坑道 テストピット挙動評価試験詳細図参照(図の追加)
59	140	29	140	28	第5章4節6.(4)①c.調査試験場所	・設計図 第129号図参照	・設計図 第127号図参照
60	141	8	141	6	第5章4節6.(4)①e.1)ボーリング孔の掘削	・【別図5.7】350m坑道断面図D-D断面に示すように……	・【別図5.8】350m坑道(試験坑道)調査研究実施詳細図(2)D-D断面図および【別図5.11】に示すように……
61	141	25	141	24	c.4)岩盤内変位計の製作・設置	・岩盤内変位を計測する10段(アンカー設置位置, 試験孔の孔壁より, 5cm, 10cm, 20cm, 30cm, 40cm, 50cm, 70cm, 100cm, 500cmを基本とする)の岩盤内変位計(延長10.5m, 0.1mmの変位を精度良く計測できること。)を1式製作し, 当該ボーリングに設置すること。	・岩盤内変位を計測する10段(アンカー設置位置, テストピットの孔壁より, 5cm, 10cm, 20cm, 30cm, 40cm, 50cm, 70cm, 100cm, 500cmを基本とする)の岩盤内変位計(延長10m, 0.1mmの変位を精度良く計測できること。)を1式製作し, 当該ボーリングに設置すること。
62	141	37	141	36	第5章4節6.(4)①e.5)テストピットの形状設定	・設計図第129号図に示すように、	・設計図第127号図に示すように、
63	142	7	142	6	第5章4節6.(4)①e.6)テストピット内壁面の観察	・設計図第129号図に示す掘削工事で掘削する……	・設計図第127号図に示す掘削工事で掘削する……
64	143	39	143	38	第5章4節6.(4)②c.調査試験場所	・350m水平坑道(【別図5.5】350m坑道平面図⑧参照)及び換気立坑	・350m坑道(【別図5.4】350m坑道平面図⑧参照)及び換気立坑
65	148	36	148	35	第5章4節6.(4)③c.調査試験場所	-	【別図5.12】350m坑道 オーバーバック腐食試験詳細図参照(図の追加)
66	148	36	148	36	第5章4節6.(4)③c.調査試験場所	・設計図 第129号図参照	・設計図 第127号図参照
67	151	39	151	39	第5章4節6.(4)④c.調査試験場所	・【別図5.10】	・【別図5.13】
68	151	40	151	40	第5章4節6.(4)④c.調査試験場所	・【別図5.11】	・【別図5.14】
69	152	1	152	1	第5章4節6.(4)④c.調査試験場所	・設計図第129号図参照	・設計図第127号図参照
70	152	14	152	14	第5章4節6.(4)④d.調査試験の実施時期・頻度	……配管類は坑道の埋め戻し会議前までに坑道内に設置する。	……配管類は坑道の埋め戻し開始前までに坑道内に設置する。
71	152	27	152	27	第5章4節6.(4)④e.1)ボーリング孔の掘削	・【別図5.10】【別図5.11】に示すように……	・【別図5.13】【別図5.14】に示すように……

通番	頁 (修正前)	行数 (修正前)	頁 (修正後)	行数 (修正後)	項目名	修正前(7月2日公表)	修正後(8月20日)
72	152	40	152	40	第5章4節6.(4)④e.1) ボーリング孔の掘削	・・・グラウト注入は、「第5章4節6.(4)②(ロ)グラウト施工性実証」に従い行うこと。・・・	・・・グラウト注入は、「第5章4節6.(4)②低アルカリ性セメント系材料の施工・影響評価試験」における「グラウト施工性実証」に従い行うこと。・・・
73	153	4	153	5	第5章4節6.(4)④e.1) ボーリング孔の掘削	・・・拘束されないように、【別図5.10】に示すように・・・	・・・拘束されないように、【別図5.13】に示すように・・・
74	153	29	153	30	第5章4節6.(4)④e.4) 模擬オーバーバックの製作	・【別図5.11】に示すように・・・	・【別図5.14】に示すように・・・
75	154	11	154	12	第5章4節6.(4)④e.5) 試験孔の掘削	・【別図5.11】、設計図第129号図に示すように、・・・	・【別図5.14】、設計図第127号図に示すように、・・・
76	154	17	154	18	第5章4節6.(4)④e.5) 試験孔の掘削	・【別図5.11】に示すように・・・	・【別図5.14】に示すように・・・
77	154	22	154	23	第5章4節6.(4)④e.5) 試験孔の掘削	・【別図5.10】【別図5.11】に示すように・・・	・【別図5.13】【別図5.14】に示すように・・・
78	154	31	154	32	第5章4節6.(4)④人e.6) 注水装置の製作・設置	・【別図5.10】【別図5.11】に示すように・・・	・【別図5.13】【別図5.14】に示すように・・・
79	154	40	155	1	第5章4節6.(4)④e.7) 緩衝材ブロックおよび模擬オーバーバックの設置	・【別図5.10】に示すように・・・	・【別図5.13】に示すように・・・
80	155	18	155	19	第5章4節6.(4)④e.7) 緩衝材ブロックおよび模擬オーバーバックの設置	・【別図5.10】に示すように・・・	・【別図5.13】に示すように・・・
81	155	30	155	31	第5章4節6.(4)④e.7) 緩衝材ブロックおよび模擬オーバーバックの設置	・・・緩衝材中の含水比を測定する比抵抗トモグラフィ用の電極とするピン(合計72本)を支保工表面に中心角5度間隔で設置する。	・・・緩衝材中の含水比を測定する比抵抗トモグラフィ用の電極とするピン(合計72本)を試験孔壁面に中心角5度間隔で設置する。
82	155	38	155	39	第5章4節6.(4)④e.7) 緩衝材ブロックおよび模擬オーバーバックの設置	・②-②断面及び③-③断面では、緩衝材中の含水比を測定するトモグラフィ用の電極とピン(合計209本)を支保工表面に11cm間隔で設置する。	・②-②断面及び③-③断面では、緩衝材中の含水比を測定するトモグラフィ用の電極とピン(合計209本)を試験孔表面に11cm間隔で設置する。
83	156	22	156	23	第5章4節6.(4)④e.8) 坑道の埋め戻し	・【別図5.10】に示すように・・・	・【別図5.13】に示すように・・・
84	156	27	156	28	第5章4節6.(4)④e.9) プラグの設置	・【別図5.11】に示すように・・・	・【別図5.14】に示すように・・・
85	156	31	156	32	第5章4節6.(4)④e.9) プラグの設置	・プラグの材料は、低アルカリ性セメントとすること。プラグの施工は、「第5章4節6.(4)②(イ)坑道掘削への施工性実証の覆工コンクリートの施工」に従い行うこと。プラグ設置予定箇所に型枠を組み、低アルカリ性セメントを打設すること。・・・	・プラグの材料は、低アルカリ性セメントとすること。プラグの施工は、「第5章4節6.(4)②低アルカリ性セメント系材料の施工・影響評価試験」における「坑道掘削への施工性実証(換気立坑での覆工コンクリートの施工)」に従い行うこと。プラグ設置予定箇所に型枠を組み、低アルカリ性セメントを打設すること。・・・
86	156	40	157	2	第5章4節6.(4)④e.9) プラグの設置	・【別図5.10】に示すように・・・	・【別図5.13】に示すように・・・
87	157	13	157	15	第5章4節6.(4)④e.10) データ計測	・・・比抵抗トモグラフィに関しては、【別図5.10】に示すように・・・	・・・比抵抗トモグラフィに関しては、【別図5.13】に示すように・・・
88	157	28	157	30	第5章4節6.(4)④e.11) 人工バリア性能試験説明資料の整備	・・・仕様とすること。【別図5.11】に示すように、・・・	・・・仕様とすること。【別図5.14】に示すように、・・・
89	159	8	159	10	第5章4節6.(5)①①-1 c. 調査試験場所	・水平坑道1箇所(換気立坑北側)で3孔【別図5.4】350m坑道平面図参照)	・水平坑道1箇所(換気立坑北側)で3孔【別図5.4】350m坑道平面図①参照)
90	159	36	159	38	第5章4節6.(5)①①-1 e. 2) コア観察、コア写真撮影、物理・流体検層	「第5章4節3.(2)検層・観察に関わる共通事項」に従い、それぞれのボーリング孔において、コア地質記載、写真撮影、孔径、方位・傾斜角、孔壁画像(EMI検層、BTV、BHTV)、一般物理検層(音波、比抵抗、自然電位、密度、間隙率、自然ガンマ線)、流体検層(温度、流量、比抵抗値などを自然状態と揚水状態に分けて測定)、柱状図作成を100m×3孔分で計300m分行う。	「第5章4節3.(2)検層・観察に関わる共通事項」に従い、それぞれのボーリング孔において、コア地質記載、写真撮影、孔径、方位・傾斜角、孔壁画像(BTV、BHTV)、一般物理検層(音波、比抵抗、自然電位、密度、間隙率、自然ガンマ線)、流体検層(温度、流量、比抵抗値などを自然状態と揚水状態に分けて測定)、柱状図作成を100m×3孔分で計300m分行う。【別表5.7】に検層作業一覧を示す。
91	163	25	163	27	第5章4節6.(5)①①-2 c. 調査試験場所	・試験坑道5【別図5.4】350m坑道平面図参照)	・試験坑道5【別図5.4】350m坑道平面図①参照)
92	168	17	168	19	第5章4節6.(5)①①-3 e. 調査試験の要求水準	・試験坑道1もしくは試験坑道5【別図5.4】350m坑道平面図参照)	・試験坑道1もしくは試験坑道5【別図5.4】350m坑道平面図①参照)
93	168	33	168	35	第5章4節6.(5)①①-3 e. 調査試験の要求水準	1)水理・物質移行試験装置の整備；	1)水理・物質移行試験装置の整備
94	169	5	169	7	第5章4節6.(5)①①-3 e. 1) 水理・物質移行試験装置の整備；	整備後の装置の全体の構成として、5連パッカー(試験区間を閉塞するパッカー(4個)と孔口を閉塞するパッカー(1個))により5区間(孔底部を含む)を形成を有する孔内部装置4つ、間隙水圧測定機構のみを持つ孔内部装置1つ(試験区間は各5区間)、及び孔外部装置からなる構成を標準とする。	整備後の装置の全体の構成として、5連パッカー(試験区間を閉塞するパッカー(4個)と孔口を閉塞するパッカー(1個))により5区間(孔底部を含む)を形成を有する孔内部装置4つ、間隙水圧測定機構のみを持つ孔内部装置1つ(試験区間は各5区間)、及び孔外部装置からなる構成を標準とする。標準として、中継部には機構が所有するJFTロッドを使用する。
95	169	28	169	31	第5章4節6.(5)①①-3 e. 3) コア観察、コア写真撮影、物理・流体検層	「第5章4節3.(1)ボーリング孔掘削・ボーリングコア観察に関わる共通事項」に従い、それぞれのボーリング孔において、コア地質記載、写真撮影、孔径、方位・傾斜角、孔壁画像(EMI検層、BTV、BHTV)、一般物理検層(音波、比抵抗、自然電位、密度、間隙率、自然ガンマ線)、流体検層(温度、流量、比抵抗値などを自然状態と揚水状態に分けて測定)、柱状図作成を計400m分(100m×4本)行うこと。	「第5章4節3.(1)ボーリング孔掘削・ボーリングコア観察に関わる共通事項」に従い、それぞれのボーリング孔において、コア地質記載、写真撮影、孔径、方位・傾斜角、孔壁画像(BTV、BHTV)、一般物理検層(音波、比抵抗、自然電位、密度、間隙率、自然ガンマ線)、流体検層(温度、流量、比抵抗値などを自然状態と揚水状態に分けて測定)、柱状図作成を計400m分(100m×4本)行うこと。【別表5.7】に検層作業一覧を示す。
96	174	18	174	21	第5章4節6.(5)①①-4 c. 調査試験場所	・掘削位置：試験坑道5【別図5.4】350m坑道平面図参照)	・掘削位置：試験坑道5【別図5.4】350m坑道平面図①参照)
97	175	24	175	27	第5章4節6.(5)①①-4 e. 4) 物質移行試験の実施	・注入試験装置(注入ラインから、ガス圧等により樹脂を注入可能で、	・4孔分の注入試験装置(注入ラインから、ガス圧等により樹脂を注入可能で、

通番	頁 (修正前)	行数 (修正前)	頁 (修正後)	行数 (修正後)	項目名	修正前(7月2日公表)	修正後(8月20日)
● 要求水準書付属資料集							
98	2		2		図表目次	<p>.....</p> <p>【別図1.7】HDB6孔ボーリング調査結果</p> <p>【別図5.1】研究支援用計測システム整備断面図</p> <p>【別図5.2】140m坑道平面図</p> <p>【別図5.3】250m坑道平面図</p> <p>【別図5.4】350m坑道平面図</p> <p>【別図5.5】350m坑道 試験坑道詳細図</p> <p>【別図5.6】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(1)</p> <p>【別図5.7】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(2)</p> <p>【別図5.8】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(1)</p> <p>【別図5.9】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(2)</p> <p>【別図5.10】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(1)</p> <p>【別図5.11】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(2)</p> <p>.....</p>	<p>.....</p> <p>【別図1.7】HDB6孔ボーリング調査結果</p> <p>【別図3.1】掘削土(ズリ)置場平面図</p> <p>【別図5.1】研究支援用計測システム整備断面図</p> <p>【別図5.2】140m坑道平面図</p> <p>【別図5.3】250m坑道平面図</p> <p>【別図5.4】350m坑道平面図</p> <p>【別図5.5】250m坑道 水平坑道掘削影響試験詳細図</p> <p>【別図5.6】350m坑道 試験坑道詳細図</p> <p>【別図5.7】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(1)</p> <p>【別図5.8】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(2)</p> <p>【別図5.9】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(1)</p> <p>【別図5.10】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(2)</p> <p>【別図5.11】350m坑道 テストピット挙動評価試験詳細図</p> <p>【別図5.12】350m坑道 オーバーバック磨食試験詳細図</p> <p>【別図5.13】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(1)</p> <p>【別図5.14】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(2)</p> <p>.....</p>
99	-		22		【別図】	-	【別図3.1】掘削土(ズリ)置場平面図 (図面を追加)
100	-		27		【別図】	-	【別図5.5】250m坑道 水平坑道掘削影響試験詳細図 (図面を追加)
101	26		28		【別図】	【別図5.5】350m坑道 試験坑道詳細図	【別図5.6】350m坑道 試験坑道詳細図
102	27		29		【別図】	【別図5.6】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(1)	【別図5.7】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(1)
103	28		30		【別図】	【別図5.7】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(2)	【別図5.8】350m坑道(試験坑道) 調査研究実施詳細図(2)
104	29		31		【別図】	【別図5.8】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(1)	【別図5.9】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(1)
105	30		32		【別図】	【別図5.9】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(2)	【別図5.10】350m坑道 立坑掘削影響試験詳細図(2)
106	-		33		【別図】	-	【別図5.11】350m坑道 テストピット挙動評価試験詳細図 (図面を追加)
107	-		34		【別図】	-	【別図5.12】350m坑道 オーバーバック磨食試験詳細図 (図面を追加)
108	31		35		【別図】	【別図5.10】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(1)	【別図5.13】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(1)
109	32		36		【別図】	【別図5.11】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(2)	【別図5.14】350m坑道 人工バリア性能試験詳細図(2)
110	36		40		【別表1.4】用語の定義	-	【「事業用地・事業用地とは、地下施設工事ヤード及び掘削土(ズリ)置場をいう。」を追加】
111	39		43		【別表3.2】仮設備一覧	-	【全面的に改訂し、内容を補足】
112	76		80		【別表5.1】研究支援業務一覧	-	【全面的に改訂し、内容を補足】
113	83		87		【別表5.7】検層作業一覧	EMI検層 ・誘電率変化の測定 ・層理面やフラクチャーの走行・傾斜	【左記部分を削除】
114	83		87		【別表5.7】検層作業一覧	スペクトル検層 ・自然γ線測定(主要3成分:K, U, Th) ・K-カリウム、U-ウラン、Th-トリウム含有量	【左記部分を削除】

設計図集

通番	図番	項目名	修正前(7月2日公表)	修正後(8月20日)
115	第290号図	水平坑道平面図 140m坑道平面図	-	坑内送信機一時避難所にCH4センサ、坑内送信機を追記
116	第290号図	水平坑道平面図 250m坑道平面図	-	坑内送信機一時避難所にCH4センサ、坑内送信機を追記
117	第290号図	水平坑道平面図 350m坑道平面図	-	坑内送信機一時避難所(西、東)にCH4センサ、坑内送信機を追記
118	第290号図	数量表 設置場所 140m一時避難所	(記載無し)	CH4センサ (1) CO2センサ - 煙センサ - COセンサ - 坑内送信機 (1)
119	第290号図	数量表 設置場所 250m一時避難所	(記載無し)	CH4センサ 1 CO2センサ - 煙センサ - COセンサ - 坑内送信機 1
120	第290号図	数量表 設置場所 350m一時避難所	(記載無し)	CH4センサ 2 CO2センサ - 煙センサ - COセンサ - 坑内送信機 2
121	第290号図	数量表 施工済数量	CH4センサ 16 坑内送信機 11	CH4センサ 17 坑内送信機 12
122	第290号図	数量表 当該工事数量	CH4センサ 13 CO2センサ 12 煙センサ 12 COセンサ 12 坑内送信機 16	CH4センサ 17 CO2センサ 13 煙センサ 13 COセンサ 13 坑内送信機 20
123	第290号図	数量表 合計	CH4センサ 30 坑内送信機 28	CH4センサ 34 坑内送信機 32
124	第293号図	数量表 設置場所 換気立坑140m接続部 備考	施工済	当該工事
125	第293号図	数量表 設置場所 140m坑道 備考	当該工事	施工済
126	第293号図	数量表 合計(当該工事)	電気座用消化設備 3 立坑用微粒散水冷却設備 -	電気座用消化設備 2 立坑用微粒散水冷却設備 1

落札者決定基準

通番	資料名	頁数	項目名	修正前(7月2日公表)	修正後(8月20日)
127	落札者決定基準	7	4(2)審査基準に基づく 加点評価	審査に当たっては、原則として事業提案書の記載内容を 中心に審査を行うが、必要に応じてプレゼンテーションや ヒアリングを実施する場合、その内容も考慮し、総合的 に判断する。	審査に当たっては、原則として事業提案書の記載内容を 中心に審査を行うが、必要に応じてヒアリング(提案内容 の一部説明含む)を実施する場合、その内容も考慮し、 総合的に判断する。